

問1 14世紀、後醍醐天皇による建武の新政が崩壊した後、約60年にわたり二つの朝廷が並立する南北朝の動乱が起こりました。この動乱が始まった経緯の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 足利尊氏が鎌倉に新しい天皇を立てたのに対し、後醍醐天皇は京都の朝廷を維持して対抗した。 | 2. 源頼朝が平氏を倒した後に立てた京都の朝廷と、後鳥羽上皇が平泉で開いた朝廷が対立した。 | 3. 足利尊氏が京都に光厳天皇を立てたのに対し、京都を逃れた後醍醐天皇が奈良の吉野で別の朝廷を開いた。 | 4. 後醍醐天皇が堺を拠点に新しい政治を始めたことに反発し、足利尊氏が京都で別の朝廷を組織した。 |
|--|---|---|--|

問2 室町時代の京都や奈良などの都市における経済活動について説明した文として、正しいものを次のうちから1つ選びなさい。 (2022年 宮崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 年貢の保管や輸送を行う問丸が、幕府の保護を受けて金融業者として高利貸しを行っていた。 | 2. 商人や手工業者は「座」と呼ばれる運送業者団体を結成し、陸上の物資輸送を専門に行っていた。 | 3. 酒屋や質屋などの業者が、高利貸しを行う金融業者である土倉として活動していた。 | 4. 馬を利用して物資を運ぶ馬借が、都市部において質の引き取りを行う金融業を独占していた。 |
|---|---|---|---|

問3 室町幕府が勘合（勘合符）を用いてまで、明との貿易を管理・継続した経済的な目的として、貿易品の特徴から推察される理由を次の中から選びなさい。 (2021年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 明から輸入される綿織物が国内の武士の軍服として不可欠であり、幕府がその流通を独占して権威を高めるため。 | 2. 明の皇帝から贈られる生糸や陶磁器をすべて寺社に寄進し、宗教勢力を幕府の支配下に置くための手段としていたから。 | 3. 国内の銅や硫黄の生産量が過剰になり、それらを処分するために明を唯一の廃棄先として利用していたから。 | 4. 国内で貨幣を铸造する技術や体制が整っていなかったため、明から輸入した銅銭を国内に流通させる必要があったから。 |
|--|---|--|---|

問4 室町時代に花開いた文化のうち、絵入りの物語として民衆の間に広く親しまれた文学と、現在の和室の原型となった建築遺構の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2019年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------|----------------------|---------------------|----------------------|
| 1. 文学：方丈記、建築：金閣（鹿苑寺） | 2. 文学：平家物語、建築：東大寺南大門 | 3. 文学：徒然草、建築：平等院鳳凰堂 | 4. 文学：御伽草子、建築：東求堂同仁斎 |
|----------------------|----------------------|---------------------|----------------------|

問5 室町幕府の政治体制について、最高職である管領の説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|--|--|
| 1. 有力な譜代大名の中から複数が選ばれ、月番交代で幕政を運営した。 | 2. 北条氏が世襲でその職に就き、実権を握って将軍に代わり政治を行った。 | 3. 九州地方の軍事や警察、外交を統括するために設置された地方の長官である。 | 4. 足利氏の一派である細川・斯波・畠山の三氏が交代で任命され、将軍を補佐した。 |
|------------------------------------|--------------------------------------|--|--|

問6 ボッティチェリの絵画「春」に代表される15世紀の新しい文化運動と、同時期に進められた海外進出の背景について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 教皇の権威が頂点に達したことで、神中心の文化がより強固になり、聖地奪還を目的とした大規模な海外遠征が頻繁に行われた。 | 2. 宗教改革の影響でカトリックの勢力が衰退したため、新たな布教先を求めてポルトガルの航海士たちが大西洋の島々に到達した。 | 3. 人間性の解放を目指すルネサンスの精神が広がる中、東洋への関心や航海技術の向上により、コロンブスがスペインの援助で大西洋を渡った。 | 4. 封建社会が崩壊し、国王の権力が弱まったことで、各地の領主が自由な貿易を求めて独自の判断で新大陸への探検を開始した。 |
|---|---|---|--|

問7 室町時代後半の京都において、町衆と呼ばれる人々が自治組織を形成した背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|---|
| 1. 戦乱により幕府の統治力が弱まったため、自分たちで治安維持や復興を行う必要があったから。 | 2. 農村の自治組織である惣村に対抗して、都市の優位性を保とうとしたから。 | 3. 江戸幕府から町を治める権利を認められ、武士に代わって行政を担うようになったから。 | 4. 海外との貿易を独占するために、堺や博多の商人と協力して同業組合を作ったから。 |
|--|---------------------------------------|---|---|

問8 日明貿易において、明が日本側に対して「勘合」という証明書の持参を義務付けた主な理由として、正しい説明はどれですか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. キリスト教の布教を制限し、幕府による貿易の独占を強めるため | 2. ポルトガルやスペインなどのヨーロッパ勢力の進出を阻止するため | 3. 東シナ海などで活動していた海賊である倭寇を識別し、取り締まるため | 4. 朝貢貿易の形式をやめ、対等な立場での自由貿易を促進するため |
|----------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------------|

問9 後醍醐天皇が行った「建武の新政」は、武士たちの強い不満を買い、短期間で失敗に終わりました。その背景にある、新政の政治的な特徴として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 静岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|---------------------------------------|
| 1. 全国の武士に過度な軍役を課し、モンゴル軍の再来に備えた防備を強化した。 | 2. 有力な守護大名の権限を強め、地方武士が天皇に直接意見を言う機会を奪った。 | 3. 恩賞の配分において貴族を重用し、武士の土地所有権を保証する審理を軽視した。 | 4. キリスト教の布教を認め、仏教を重んじてきた武士や寺社勢力と対立した。 |
|--|---|--|---------------------------------------|

問10 室町時代、足利義満の保護を受け、父である観阿弥とともに猿楽を洗練させ、舞台芸術としての「能」を大成させた人物は誰ですか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|-----------|--------|-------|
| 1. 世阿弥 | 2. 近松門左衛門 | 3. 観阿弥 | 4. 雪舟 |
|--------|-----------|--------|-------|

問11 室町時代の京都などの都市において、幕府に税を納める代わりに、高利貸しなどの金融業を営む権利を公認されていた業者を何と呼びますか。 (2026年 山口県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|------|--------|----------|
| 1. 土倉・酒屋 | 2. 座 | 3. 株仲間 | 4. 問（問丸） |
|----------|------|--------|----------|

問12 室町時代の対外貿易に関する説明として、貿易が行われた背景や仕組みをふまえたものとして最も適切なものはどれですか。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 足利義満が明の皇帝からの要求を受け、倭寇を取り締まるとともに、正式な船に証明書を持たせて貿易を行った。 | 2. 足利義満が、宋の商人と直接取引を行うために、勘合を用いて倭寇の活動を支援しながら貿易を拡大した。 | 3. 平清盛が兵庫の港を整備し、明から大量の銅銭や陶磁器を輸入するために、勘合と呼ばれる札を用いた。 | 4. 江戸幕府がキリスト教の布教を防ぐために、特定の海外貿易船にのみ朱印状を与えて東南アジアへ派遣した。 |
|--|---|--|--|